

巻頭言

「美しい論文と、 当所報掲載論文のWeb公開」

長崎総合科学大学 船舶工学コース 教授
工学部長 堀 勉



新技術創成研究所 所報「創見創新」も、第17号を迎えます。創刊号を書棚から取り出してみますと、発刊は2006（平成18）年で、当研究所の前身である工学研究センター所報 第21号と記載されており、本学の歩んできた歴史を感じます。

研究所の所報ですから、その価値が掲載論文の質であることは、論を待ちません。理論物理学の分野では、美しい論文という言葉で、学会の受賞以上に、他の論文と区別される実質的な評価があり、その論文に対する最高の賛辞のようです。自分なりに解釈すると、テーマの真理を透徹した論理で、明快に解き示した論文と言えるのではないのでしょうか。私の専門である船舶流体力学の分野でも、若い頃、苦心讃嘆して読破し、深い感銘を受けた、花岡達郎博士や丸尾 孟教授の造波理論の論文は、今考えれば、正にその美しい論文だったのでしょう。自分もいつかは紙と鉛筆で、そのような論文を書いてみたいと夢想して、研究の世界を歩み始めました。若気の至りで、この新創研所報の第2号に、空中渦による造波グリーン関数の構築と題して、初めて数値計算なしで、紙と鉛筆（数式はPCソフトのMathTypeを使って）の論文を書かせて頂きました。その後、当所報には論文を投稿していなくて、余り貢献できていないのに、巻頭言を書くことになり、申し訳なく思っています。

幸い当研究所にも、最近、基礎科学部門が増設されましたし、勿論、理論系のみならず、実験系でも、数値計算系であっても、読んでみて、美しい論文というものが、必ずあると思います。時代は変わっても、我々大学人は、常にそんな論文を書こうとする向学心と真摯な研究哲学を持ち続けていくべきだと、考えています。それが、本学発展の原動力になると信じます。

そのような美しい論文を、本学の教員が執筆し、当新創研の所報に掲載されることを、心より願っています。私の少ない経験でも、上述の丸尾先生の論文は、学会誌掲載論文ではなくて、数式の展開を詳細に記述した、横浜国大の紀要だったと記憶しています。

末筆ですが、この新創研の所報は、最近では貴重な冊子体での論文集で、私も紙媒体の論文誌の良さに拘りを持って応援しています。今後は、多くの学会誌や本学の紀要のように、当所報の掲載論文がJ-stageや学術機関 Repositoryに登録され、CiNii等の検索エンジンで、当研究所の研究成果を、多くの研究者に読んで頂けるようにすることも、必要と思います。そのために、掲載後の時間差はあっても、全論文のPdf版が、創刊号まで遡って順次Web上へ公開されることを希望して、巻頭の言葉とさせていただきます。

4. 研究所員の研究活動状況

(1) 学術論文発表 (2021.4.1~2022.3.31)

	著者名	論文標題又は書名	掲載雑誌名又は出版社名	巻・号・頁・発行年月日	単著・共著の別 (共著の場合は共著者名)
海洋・複合新技術部門	堀 勉	「浮体静力学」の基礎理論に対する新展開 — その3: 任意形状の没水体と浮体に対する「浮心=圧力中心」の証明 —	舟艇技報 (Boat Engineering). [技術資料]	No. 146. pp. 35~43. 2021(R3)年6月	単著
	堀 勉	長崎総合科学大学 工学部 工学科 船舶工学コースの歴史と現在	日本船舶海洋工学会 西部支部 メールマガジン	第96号. Web-Page. 2021(R3)年6月30日	単著
	堀 勉	「船の安定性理論」に関する一例題	日本航海学会誌 Navigation. [解説・展望]	第217号. pp. 39~46. 2021(R3)年7月	単著
	堀 勉	Proof that the Center of Buoyancy is Equal to the Center of Pressure by means of the Surface Integral of Hydrostatic Pressure Acting on the Inclined Ship	viXra.org [Pre-print Repository]. Classical Physics	viXra:2109.0008. pp. 1~20. 2021(R3)年9月1日	単著
	堀 勉	「船の安定性理論」に関する応用例題 — 横傾斜状態での安定姿勢の求解 —	日本航海学会誌 Navigation. [解説・展望]	第218号. pp. 58~65. 2021(R3)年10月	単著
	堀 勉	A New Theory on the Derivation of Metacentric Radius Governing the Stability of Ships	viXra.org [Pre-print Repository]. Classical Physics	viXra:2111.0023. pp. 1~16. 2021(R3)年11月3日	堀 愛美
	堀 勉	Proof that the Center of Buoyancy is Equal to the Center of Pressure by means of the Surface Integral of Hydrostatic Pressure Acting on the Inclined Ship	長崎総合科学大学 紀要. [研究ノート] 数物系科学	第61巻. 第2号. pp. 135~154. 2022 (R4)年1月6日	単著
	堀 勉	Theoretical Treatment on the Hydrostatic Stability of Ships (Part 1:) Stable Conditions for the Upright State	viXra.org [Pre-print Repository]. Classical Physics	viXra:2203.0180. pp. 1~16. 2022(R4)年3月30日	堀 愛美

(2) 講演・口頭発表

	講師	講演テーマ	学会名等	場所	実施日
海洋・複合新技術部門	堀 勉	「メタセーター半径 BM 導出の新理論」の講義 (前半: メタセーターの位置決め)	「船体復原論」の通常講義 No.3 (長崎総合科学大学 工学部 船舶工学コース 専門科目)	YouTube 動画 (https://youtu.be/IUWbQ92z-JQQ . 約63分)	2021年10月14日
	堀 勉	「メタセーター半径 BM 導出の新理論」の講義 (後半: メタセーター半径の算定公式)	「船体復原論」の通常講義 No.4 (長崎総合科学大学 工学部 船舶工学コース 専門科目)	YouTube 動画 (https://youtu.be/qAlzLKK-SY4U . 約82分)	2021年10月21日